

三菱電機デジタルイノベーション株式会社

1 はじめに

電子入札システムを利用するにあたり、発注機関によっては事前に電子証明書(IC カード)に格納されている お客様の情報の提出を求められる場合があります。

本手順書は、電子証明書(ICカード)に格納されているお客様情報を画像ファイルとして保存する手順を記載しております。

2 事前準備

端末に電子入札システムを利用するためのセットアップがお済みでない場合は、下記の手順書をご確認いただき 事前にセットアップをお願いします。

【DIACERT-PLUS セットアップ手順書】 https://www.mind.co.jp/service/diacert-plus/pdf/core_setup_manual.pdf

3 電子証明書(IC カード)格納内容の確認

 IC カードとIC カードリーダーをご利用のパソコンへセット(接続)します。
 IC カード表面に金色の小さな四角形(接触端子)がある側を上にして下記のように挿し込みます。奥まで しっかりと 挿し込んでください。



- ② 「IC カード証明書取得ツール」を実行します。
- Windows 11 の場合: Windows のスタートボタン →「すべてのアプリ」→「DIACERT 電子証明書設定ソフト」→「IC カード証明書取得ツール」の順にクリックし、「IC カード証明書取得ツール」を実行してください。
- Windows 10 の場合: Windows のスタートボタン → 「DIACERT 電子証明書設定ソフト」→「IC カード 証明書取得ツール」の順にクリックし、「IC カード証明書取得ツール」を実行してください。

③ 「正常完了しました。」と表示された場合は「OK」をクリックします。





④ デスクトップに「Cert1.cer」及び「Cert2.cer」が作成されますので、「Cert1.cer」のファイルをダブルクリックします。



⑤ 「証明書」ウィンドウが開いたら「詳細」タブをクリックします。

⑥ 表示(S) が「<すべて>」であることを確認します。

証明書	x
全般 詳細 証明のパフ	
表示(S): (〈すべて〉	
フィールド 値	<u> </u>
■ バージョン V3	=
■ ジリアル番号 59.9f ■ 第名アルゴリブル obs.1PS.0	
IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	
□ 有効期間の開始 2013年3月4日 14:27:51	
	*
プロパティの編集(E) ファイルにコピー	-(C)
証明書の詳細について表示します。	
	ОК

⑦ 画面を下にスクロールし、フィールドの「サブジェクト」をクリックし、画面をキャプチャし画像形式(jpg,png 等)で保存 します。同様に「サブジェクトの別名」をクリックし、画面をキャプチャし画像形式(jpg,png等)で保存します。

証明書	X
全般 詳細 証明のパス	
表示(S): 〈すべて〉	▼
フィールド	値
■ 発行者 ■ 有効期間の開始 ■ 有効期間の開始	Electronic Bidding Core Syst 2013年3月4日 14:27:51 2016年3月31日 23:59:59
サブジェクト 支援した () <td>RSA (1024 Bits) KeyID=6d 55 c9 b1 05 5c 1b dd 9a 0e 89 14 80 75 6f 8b 2</td>	RSA (1024 Bits) KeyID=6d 55 c9 b1 05 5c 1b dd 9a 0e 89 14 80 75 6f 8b 2
CN OU S = OU O = C =	,
ー 証明書の詳細について表示します。	「フロパティの編集(E)」 「ファイルにコピー(O)」
	OK

くサブジェクトフィールドン

「サブジェクト」には下記が表示されます。

- 利用者(名義人)氏名(ヘボン式ローマ字)
- 利用者 (名義人) 住民票住所 (ヘボン式ローマ字) 利用者 (名義人) 氏名 (日本語)
- ※ 住民票住所はお申し込み時に希望された場合のみ 企業等の商号・名称、本店所在地(日本語) 電子証明書に記載されます。

証明書	X
全般 詳細 証明のパス	
表示(S): 〈すべて〉	Windows11 の場合は 「サブジェクト代替名」
1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100	Tel 9a 0e 89 14 80 75 6f 8b 2 Directory Address:OU=電子入 [1]CRL Distribution Point Dis [1]Certificate Policy:Policy Id Digital Signature, Non-Repudi sha1
Directory Address:	
・ 証明素の詳細について表示します。	ブロパティの編集(E) ファイルにコピー(O) OK

くサブジェクトの別名フィールド>

「サブジェクトの別名」または「サブジェクト代替名」 には下記が表示されます。

- ※ 商業登記されていない個人事業主・組織等の場合、 利用者(名義人)が所属する企業等に係る情報は電 子証明書に記載されません。
- 法人番号
 - ※ 利用者(名義人)が所属する企業等が商業登記され ており、企業等に法人番号がある場合に電子証明書 に記載されます。法人番号の先頭には"JCN"が付記 されます。

【画面のキャプチャ、保存の手順が不明な場合は次ページの付録を参照ください。】 キャプチャ手順の一例ですので必ずしもこの手順で行う必要はございません。

付録 画面のキャプチャ・保存手順例

① キャプチャする画面の一部をクリックし、パソコンの画面上で一番手前に表示されるようにします。



- ② キーボードの「Alt」キーを押しながら「Print Screen」キーを押下します。
- ※ この操作で画面をクリップボードにコピーします。
- ③ キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押下します。
- ④「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されるので名前(①)に「mspaint」と入力し「OK」ボタンをクリックします。



⑤ 「ペイント」が開きます。キーボードの「Ctrl」キーを押しながら「V」キーを押下しクリップボードから貼り付けます。

の 日 つ (~ = 無題 - ペイント	
□ ホーム 表示	0
□ □ ▲ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	副時 編の編 日時 単
9 証明書	
全般 詳細 証明のパス	
マイールド (1) 有効期間の8%了	值 2016年9月31日 235959
	RSA (1024 Bits) KeyID=66 55 69 b1 05 5c 1b dd 99 de 99 14 80 75 6f 1b 2 Directory AddressCNa室田 Directory AddressCNa室田
CN L = S = OU O = C =	-
認明書の詳細について表示します。	ブロパティの編集(E) ファイルにコピー(Q)
	ОК
÷	100% 🕤 —— 🕞 💮

⑥ キーボードの「Ctrl」キーを押しながら「S」キーを押下し画像を任意の場所、ファイル名で保存します。

整理 ▼ 新しいフォルダー	ť 0
★ お気に入り 参 グランロード ■ デスクトップ ■ 最近表示した場響 ■ ポンターター	サイズ 項目の機類 ・
	ファイル フォルー ファイル フォルー ファイル フォルー ファイル フォルー ファイル フォルー ファイル フォルー
■ コンピューター ■ os (c) ■ HP.RECOVERY USB DISK / F1	レ名を入力 フィル フォルー フィル フォルー フィル フォルー フィル フォルー フィル フォルー
ファイル名 V): subjectalt.jpg ファイルの種類(1): 100 (*:::::::::::::::::::::::::::::::::::	
	(現在(S)) キャンセル

⑦ 「ペイント」画面で「×」をクリックし画面を閉じます。

	「×」をクリック
 □ • (· =) 無語 - ペイント □ • ホ-ム 表示 	
ついた ジャール ブラシ 回形 線の幅 色 、 ポード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1199#	
全般 詳細 証明のバス	
表示(3) (2)示表	
フィールド 値 ・	
サブジェクト 公開キー PSA (1024 Bits) 電観キー選別子 KeyID=6d 55 c9 b1 05 5c 1b 切ザブジェクト キー識別子 dd 9a 0e 89 14 80 75 6f 8b 2 ロサブジェクトの部名 Directory AddressON回田 変形音句の形名 Directory AddressONU=電子入 *	
CN OU L = S = OU O = C =	
プロパティの編集(E)_ ファイルにコピー(C)_ 証明泉の詳様について表示します。	
ОК	
+ 100% © · · · · · · ·	-

⑧ 別の画像をキャプチャする場合は再度①~⑦を実行します。

本製品は原則日本国内でのみご使用ください。

本製品は外国為替および外国貿易管理法で規制される貸物・技術 に該当します。本製品を輸出(日本国外への持ち出しおよび)非居住 者へ技術を提供する場合も含む)する場合は、同法に従い日本政府 の輸出許可または役務取引許可が必要です。

米国等国外へ持ち出し、持ち帰る場合は当該国の法律に基づき許可が必要な場合があります。

本製品に含まれるアルゴリズムに関する特許については、日本国外においては保証いたしません。